

# 一隅を照らす運動総本部だより No.33



一隅を照らす運動ホームページアドレス  
<http://ichigu.net>



## 一隅を照らす運動理事会を開催

平成26年1月16日、天台宗務庁（滋賀県大津市坂本）において一隅を照らす運動理事会が開催され、平成26年度の一隅を照らす運動の事業計画や予算を審議し、平成26年度「一隅を照らす運動」通常会計歳入歳出予算金84,600,000円、平成26年度「一隅を照らす運動」地球救援事業特別会計歳入歳出予算金35,200,000円が承認された。

会議の冒頭では、森川宏映会長から「過日、横山照泰総本部長に一隅を照らす運動の抱負を聞いたところ、即座に団体の会員を増やしたいと答えられた。それぞれの団体は、自らのことで精一杯ということもあり、即座に入会とはいかないかもしれない。しかし、信念と情熱があれば、固い鉄の扉も開くのではないか。その事を頭に置きながら、ご審議をして頂きたい」と挨拶があった。

続いて、山田俊和副会長から「発足当時は、物が豊かになったが精神が伴わないところから始まったと聞いている。時代の移

り変わりがあるが、特に東日本大震災の復興の中で我々が果たしていける役目があるのかという点を加味しながら努力していきたい」と挨拶があった。

また、理事会開催前に平成25年11月18日から12月17日の間に全支部へ呼びかけていた、平成25年11月台風30号義援金の合計8,675,288円のうち2,000,000円を森川宏映会長より認定特定非営利活動法人アムダ代表菅波茂氏へ寄託した。

菅波代表は、「物の見方や考え方が違う人達が、どうしたら一緒にやっていけるのかという疑問が全ての始まりでした。行き着いた答えは、被災者と同じように苦勞をともにすることによって、そこで生じる尊敬と信頼の念があればやっていける。その困った時はお互いさま、という相互扶助の気持ちを大事にしながら活動している」とアムダの紹介をされた。

今回の理事会で、就任された顧問・理事長・専務理事・理事・監事は次の通り。

### 【顧問】

京都教区三千院住職・堀澤祖門師  
東京教区圓融寺住職・阿純孝師  
神奈川教区圓滿寺住職・西郊良光師

### 【理事長】

宗務総長・木ノ下寂俊師

### 【専務理事】

参務一隅を照らす運動総本部長・横山照泰師



**【理事】**

参務財務部長・田中祥順師

参務教学部長・中島有淳師

参務社会部長・角本尚雄師

**【監事】**

陸奥教区大長壽院住職・菅原光中師

## 第28回全国一斉托鉢

平成25年12月1日、師走の恒例行事となった第28回全国一斉托鉢が行われ、12月の「地球救援活動強化月間」中は各教区本部を中心に戸別托鉢や街頭募金が展開された。今回も大勢の方の協力により平成26年1月15日現在で61会場の実施報告があった。

全国での募金総額は8,477,971円で、これらの浄財から地域社会福祉向上のために地元の社会福祉協議会やNHKの歳末たすけあい運動などに届けられたほか、一隅を照らす運動総本部「地球救援事務局」に4,144,971円が寄託された。

### 各地の様相 (中間報告)

**延暦寺一山**

12月1日、比叡山麓坂本では半田孝淳天台座主猊下を先頭に延暦寺一山住職や天台宗務庁役職員など約100名が托鉢行脚。坂本界隈の戸別托鉢では523,201円の浄財が



寄せられ、毎年恒例の托鉢を楽しみに待たれている人も多かった

また、延暦寺一山寺庭婦人会の協力を得て、寺庭婦人と天台宗務庁役職員がJR比叡山坂本駅とJR堅田駅、京阪坂本駅で実施した街頭募金では合わせて62,841円の浄財が寄せられた。

**滋賀教区本部**

12月1日、湖西部において総勢39名が5班に分かれて托鉢を実施。156,020円の浄財が寄せられ、地球救援事務局へ寄託。

**京都教区本部**

12月7日、総勢29名が京都市中央区四条河原町を2班に分かれ街頭托鉢を実施。大勢の通行人の中、多くの浄財をお預かりした。京都新聞社会福祉事業団と地球救援事務局にそれぞれ278,441円を寄託。

**近畿教区本部**

12月7日、心齋橋筋戎橋付近にて総勢12名で街頭托鉢を実施。当日は晴天に恵まれ、「一隅を照らす運動」について説明するグループと読経をしながら喜捨を受けるグループに分かれ托鉢を行った。パンニャ・メッタ協会へ59,771円、地球救援事務局へ59,772円を寄託。

**兵庫教区本部**

・第2部では12月7日、大勝院周辺にて総勢42名が6班に分かれ戸別托鉢。各家庭

では温かく迎えていただき軒先で法楽を行い、無事に托鉢を終えた。篠山市社会福祉協議会に130,000円と砂糖13kgと洗剤18個、加東市社会福祉協議会に21,000円と砂糖2kg、三田市社会福祉協議会に20,000円、地球救援事務局に61,573円を寄託。

- ・第3部では12月1日、普光寺周辺にて総勢66名が参加し、普光寺檀徒を中心に戸別托鉢を実施。玄関先で読経の間、合掌して静かに聞いていたのが印象的でした。加西市社会福祉協議会160,000円、地球救援事務局に160,000円を寄託。
- ・第4部では12月1日、総勢13名が姫路駅前から姫路城大手門までの間、托鉢行脚を実施。平成25年11月台風30号義援金として50,325円、地球救援事務局に52,000円を寄託。
- ・第5部では11月12日、相應峰寺周辺にて総勢10名で戸別托鉢を実施。生憎の雨の中の托鉢であったが、積極的に協力いただけだ。兵庫天台仏教青年会に222,781円、地球救援事務局に24,000円を寄託。



- ・第6部では11月30日、総勢43名が4班に分かれて常楽寺周辺にて戸別托鉢を実施。恒例行事として定着したようで、訪問先でも事前に浄財を用意して待って下さるなど、とても協力的であった。丹波市社会福祉協議会と地球救援事務局にそれぞれ57,000円を寄託。

### 岡山教区本部

11月29日、倉敷市玉島地区にて総勢48名がそれぞれ分かれて戸別托鉢を実施。201,580円の浄財が集まった。玉島社会福祉協議会に50,000円、地球救援事務局に151,580円を寄託。

### 山陰教区本部

- ・第1部では12月2日、三朝温泉街にて総勢25名が参加し、街頭托鉢と戸別托鉢を実施。三朝町社会福祉協議会に85,229円、地球救援事務局に80,000円を寄託。
- ・第2部では年間を通して募金箱を設置し、募金活動を実施。大山町社会福祉協議会に25,000円を寄託。
- ・第3部と第4部は合同で、12月1日松江市内にて総勢7名が街頭托鉢と戸別托鉢を実施。当日は留守宅が多かったが、通行人の方の募金が多く寄せられた。山陰中央新報社会福祉事業団に35,919円、地球救援事務局に35,000円を寄託。

### 四国教区本部

12月1日、道後商店街にて総勢24名が参加し、街頭托鉢を実施。当日は雨上がりで天候は良くなかったが、募金の呼びかけに足を止め応じていただいた。33,795円の浄財が寄せられ、地球救援事務局へ寄託。



### 九州東教区本部

- ・第1教部では12月1日、総勢10名が国東

町内にて街頭托鉢と戸別托鉢を実施。30,000円の浄財が寄せられ、大分合同新聞社に寄託。

- ・第2教部では12月2日、部内各寺院において檀信徒より浄財を集めた。45,000円の浄財が寄せられ、地球救援事務局に寄託。
- ・第3教部では12月1日、豊後高田市市内にて総勢12名が参加し、街頭托鉢を実施。決まったところでお茶の接待など一斉托鉢の浸透を感じる。豊後高田市交通安全協会に50,000円、地球救援事務局に86,142円を寄託。
- ・第4教部では12月1日、大分市のデパート前にて総勢10名で街頭托鉢を実施。中高生から年配者まで幅広い世代の方が募金に協力いただいた。32,541円の浄財が寄せられ、地球救援事務局へ寄託。



- ・第5教部では、部内各寺院より一隅を照らす運動協力金として募り、集めた。地球救援事務局に17,000円を寄託。
- ・第6教部では12月1日、部内各寺院で檀信徒を対象に托鉢を実施。地球救援事務局に10,000円を寄託。

### 九州西教区本部

- ・筑前部では11月26日、宮若市磯光付近にて総勢18名で戸別托鉢を実施。本年は老人福祉施設やグループホームを多く訪問し、読経に手を合わせられ喜んでいただけた。地球救援事務局に125,600円を寄託。

- ・柳川部では12月3日、柳川市内にて総勢9名が2班に分かれて戸別托鉢を実施。当日は天候に恵まれ、とても清々しい托鉢が行えた。地球救援事務局に33,011円を寄託。
- ・久留米部では12月9日、正福寺幼稚園及び久留米一番街にて総勢10名が戸別托鉢を実施。幼稚園では園児がお小遣いなどを浄財として募金、「困っている人にあげてください」などの声が寄せられた。地球救援事務局に39,607円を寄託。



- ・熊本部では12月3日、宇土市商店街にて総勢8名が戸別托鉢を実施。33,940円の浄財が寄せられ、地球救援事務局に寄託。
- ・肥前東部と肥前西部では12月5日、佐賀市中心部にて総勢20名が戸別托鉢を実施。フィリピン台風被害から間もなかったのもあってか、皆様の善意が多く集まった。地球救援事務局に43,107円を寄託。
- ・対馬部では12月17日、対馬市比田勝商店街にて総勢19名が戸別托鉢と街頭托鉢を実施。肌寒く強風の中の托鉢となったが、募金に快く喜捨された。対馬市社会福祉協議会に10,000円、地球救援事務局に36,500円を寄託。

### 三岐教区本部

10月23日、垂坂町観音寺の檀信徒を中心に、総勢19名が6班に分かれ戸別托鉢を実施。中には、お茶やお菓子を用意してくだ

さる方もあり、好意を持って迎えていただきました。137,600円の浄財が寄せられ、地球救援事務局に寄託。



### 東海教区本部

- ・東海教区本部では12月21日、名古屋市千種区の覚王山日泰寺にて総勢14名が街頭托鉢を実施。雨の中の托鉢であったが、日泰寺への参拝の方々から気持ちのこもった浄財を頂戴することができた。地球救援事務局に100,000円を寄託。
- ・第5部の吉祥院では12月1日から12月7日まで、知多市八幡地区にて総勢26名が参加し、4班に分かれて詠唱しながら托鉢を実施。知多市社会福祉協議会に500,000円、愛知県共同募金会に70,224円、地球救援事務局に30,000円を寄託。

### 北陸教区本部

12月1日、金沢市中心街にて総勢15名が街頭托鉢を実施。氷雨の降る中で、各寺院の檀信徒の方も多く、皆快く協力していただけました。158,042円の浄財が寄せられ、地



球救援事務局に寄託。

### 神奈川教区本部

12月2日、川崎駅東口銀柳街商店街にて総勢38名が6組に分かれ、街頭托鉢を実施。チラシ、ティッシュを配布しつつ、募金への協力を呼びかけた。通行の方々によく浄財を寄せていただき、また教区の各寺院で集められた募金も持参していただいた。教区仏青救援募金に100,000円、地球救援事務局に128,017円を寄託。



### 東京教区本部

12月14日、聖観音宗浅草寺宝蔵門前にて総勢43名が街頭托鉢を実施。一隅を照らす運動キャラクター「しょうぐうさん」が海外の方に人気があった。参拝者の方々から温かいご支援をいただいた。あしなが育英会に100,000円、港区社会福祉協議会に21,816円、地球救援事務局に100,000円を寄託。

### 北総教区本部

12月5日、上和泉部泉倉寺周辺にて総勢19名が4班に分かれて戸別托鉢を実施。檀信徒へ事前に連絡していたため、留守ではなく待っていただいた。集まった浄財と参加住職からの浄財を合わせて222,000円を地球救援事務局に寄託。



### 南総教区本部

12月6日、いすみ市大原商店街にて総勢14名が参加し、街頭托鉢を実施。ティッシュ等の配り物をしたため、以前よりも多くの方に理解していただけた様に思う。103,841円の浄財が寄せられ、地球救援事務局に寄託。

### 埼玉教区本部

- ・12月1日、川越駅前川越クレアモールにて総勢14名が街頭托鉢を実施。当日は天気も良く人通りも多かったが、反応は鈍かった。意識を高めるには、具体的で簡潔なテーマで呼びかける必要性を感じた。天台仏青連盟救援委員会に43,691円を寄託。
- ・12月1日、熊谷駅前八木橋百貨店前にて総勢12名が街頭托鉢を実施。気候や曜日の条件は良かったが、全体的に人通りが少なかった。百貨店前は反応が良く、多くの浄財が寄せられた。天台仏青連盟救援委員会に19,272円、地球救援事務局に69,560円を寄託。



### 群馬教区本部

- ・南前橋部では12月7日、総勢109名が前橋市極楽寺周辺にて戸別托鉢を実施。1軒ずつ訪問し、お経を唱えると非常に感謝された。群馬教区一隅に281,283円、地球救援事務局に400,000円を寄託。
- ・北前橋部では12月6日、総勢18名が前橋市圓龍寺周辺にて戸別托鉢を実施。138,553円の浄財が寄せられ、上毛新聞社に100,000円、群馬教区一隅に38,553円、地球救援事務局に60,000円をそれぞれ寄託。
- ・西前橋部では12月1日、総勢38名が前橋市西福寺周辺にて戸別托鉢を実施。仏教保護会に50,000円、上毛新聞社に92,516円、群馬教区一隅に100,000円、地球救援事務局100,000円をそれぞれ寄託。
- ・高崎部では12月6日、総勢26名（内天台5名）が高崎駅前、高崎市街地にて街頭托鉢と戸別托鉢を実施。高崎仏教会として、他宗の住職等と協力して毎年実施している。寄せられた浄財50,000円を群馬教区一隅に寄託。
- ・富岡部では12月7日、14日に富岡甘楽妙義仏教会の托鉢に合わせて総勢16名（内天台7名）が富岡市内、甘楽町内にて街頭托鉢と戸別托鉢を実施。恒例の行事として待っていてくださる人や、合掌しながら喜捨してくださる人がおられた。富岡市社会福祉協議会に160,020円、甘楽町社会福祉協議会に44,113円、群馬教区一隅に10,000円、地球救援事務局に20,000円を寄託。
- ・多野部では11月23日、浄法寺で行われた多野部檀信徒研修会にて募金活動を実施。群馬教区一隅へ20,000円、地球救援事務局22,800円を寄託。
- ・北群馬部では12月7日、渋川市内にて総勢68名が街頭托鉢と戸別托鉢を実施。上毛新聞社に100,000円、渋川市社会福祉

協議会に100,000円、地球救援事務局に155,000円を寄託。

- ・桐生部では12月8日、総勢20名が桐生市本町5丁目から托鉢行脚を実施。僧侶の街頭托鉢に気付いた一般の方は快く募金をしていただいた。群馬教区一隅会に40,000円、地球救援事務局47,126円を寄託。
- ・東前橋部では12月1日、部内寺院にて実施。群馬教区一隅に60,000円、地球救援事務局に60,000円を寄託。
- ・下仁田部では12月1日、3日に下仁田町商店街、南牧村商店街にて総勢13名が戸別托鉢を実施。この地域に於いては昭和20年代から甘楽西部仏教会が主催で、托鉢を行っている。町民、村民も永年の伝統行事であるため、快く喜捨していただいた。下仁田町社会福祉協議会に64,639円、南牧村社会福祉協議会に87,990円、仏教保護会に20,000円、群馬教区一隅に15,000円、地球救援事務局に15,000円をそれぞれ寄託。
- ・西群馬部では部内会費より集まった内から、群馬教区一隅に10,000円、地球救援事務局に20,000円を寄託。

#### 茨城教区本部

- ・12月1日、第2部千光寺周辺を総勢17名が戸別托鉢を実施。当日は天候に恵まれ、千光寺檀信徒の方々にはあたたかく迎えていただいた。茨城教区ラオス学校建設基金に50,000円、地球救援事務局に



77,900円を寄託。

- ・第2部では12月2日、筑西市下館周辺にて総勢6名が街頭托鉢を実施。当日は寒さが厳しかったが、風があまりなく楽に感じられた。121,807円の浄罪が寄せられ、筑西市社会福祉協議会に寄託。

#### 栃木教区本部

12月1日、宇都宮市バンバ広場にて東北復興応援イベントを開催し、併せて托鉢を実施。東北区各地の物産展など、様々な催し物を開いた。多くの方が浄財を手には笑顔で喜捨された。地球救援事務局に17,398円を寄託。



#### 福島教区本部

- ・12月1日、総勢29名が須賀川市市街地にて托鉢行脚を実施。東日本大震災で被害を受けた地区だが、沿道で待つて布施を行う姿に感動を覚えた。57,985円の浄財が集まり、地球救援事務局に寄託。



- ・第4部龍興寺支部では、11月30日に「第26回歳末たすけあい詠讚托鉢」として詠讚会、伝道師会の会員など総勢21名が会津美里町、高田町にて街頭托鉢を実施。福島民報社厚生文化事業団と平成25年11月台風30号義援金にそれぞれ46,228円を寄託。

### 陸奥教区本部

11月22日、第2部満福寺において総勢27名が参加し、戸別托鉢を実施。「日本のみならず、世界中でおきている災害で被災された方、恵まれない子ども達にお役立ていただければ」とあたたかい声をかけていただいた。寄せられた浄財225,277円を地球救援事務局に寄託。



### 山形教区本部

11月25日、天童市内にて立正校正会と合同で総勢52名（内天台32名）が街頭托鉢と戸別托鉢を実施。散歩中の方が家に駆け戻り、ご寄付いただく場面もあった。住宅だけでなく店舗や旅館にもお邪魔し、あたた



かい浄財を寄せていただいた。山新放送愛の事業団に124,185円、地球救援事務局に100,000円を寄託。

## 平成25年度支部活動助成支部

一隅を照らす運動総本部では、平成19年度から宗祖大師のお言葉「己を忘れて他を利するは慈悲の極みなり」の精神で社会奉仕活動を永年にわたり実践する支部を奨励し助成を行なっています。平成25年度の助成支部は以下の通り。

### 兵庫教区本部

高蔵寺支部（福井邦準支部長）



- 事業名：高蔵寺境内環境整備
- 活動年数：50年
- 該当事業：清掃奉仕・環境保全
- 回数：年間通じて2回
- 場所：兵庫県篠山市高倉
- 人数：寺族2名・檀徒30名
- 要旨：地域活性化のため境内および山林の環境整備を行っている。

### 兵庫教区本部

弥勒寺支部（草別善哉支部長）

- 事業名：ほてい祭り
- 活動年数：11年
- 該当事業：リサイクル・文化
- 回数：年間通じて1回
- 場所：兵庫県姫路市夢前町





- 人数：寺族4名・檀徒10名・信徒5名・一般20名
- 要旨：毎年11月3日にほてい祭りを実施し、境内を無料開放しフリーマーケットを行っている。近年は地域の住民がこぞって農作物等を販売している。

## 兵庫教区本部

白毫寺支部（荒樋勝善支部長）

- 事業名：植樹植栽及び交流事業
- 活動年数：25年
- 該当事業：環境保全・まちづくり
- 回数：随時
- 場所：兵庫県丹波市市島町
- 人数：寺族5名・檀徒40名・信徒5名・一般20名
- 要旨：モミジ・桜・紫陽花・石楠花などの植栽。特に今年度は石楠花1000本植樹を目指す。九尺フジ（8m×120m・2m×70m）の管理と白毫寺九尺ふじまつりによる交流事業の実施。

## 山陰教区本部

観音院支部（中村彰恵支部長）

- 事業名：蛍放生会 ～天大声明と蛍観賞のゆうべ～
- 活動年数：1年
- 該当事業：まちづくり・文化
- 回数：年間通じて1回
- 場所：鳥取県鳥取市上町

- 人数：寺族6名・檀徒70名・一般50名
- 要旨：名勝に指定されている庭園を保存・継承していく方法のひとつとして夜間観賞を開催し、地域の活性化を計る。「蛍放生会」とし、命の尊さを考える観賞会としている。

## 山陰教区本部

大日寺支部（見上知正支部長）

- 事業名：こどもほっしんえ
- 活動年数：2年
- 該当事業：教育
- 回数：年間通じて1回
- 場所：鳥取県倉吉市桜
- 人数：寺族1名・檀徒60名・一般10名
- 要旨：「こどもほっしんえ」を通じて、親子が一体感となり伝教大師の御教えにふれてもらう機会をつくる。

## 山陰教区本部

善光院支部（乾光伸支部長）



- 事業名：もちつき会
- 活動年数：1年
- 該当事業：環境保全・福祉・まちづくり・文化
- 回数：年間通じて1回
- 場所：鳥取県鳥取市福部町
- 人数：寺族2名・檀徒30名・一般30名
- 要旨：地域の親子会が協力のもと、もちつきをし老人会の人々と交流をする。

## 山陰教区本部

三佛寺支部（米田良中支部長）

- 事業名：体験平成の一休さん
- 活動年数：35年
- 該当事業：清掃奉仕・教育
- 回数：年間通じて1回
- 場所：鳥取県東伯郡三朝町
- 人数：寺族6名・信徒3名・一般90名
- 要旨：小学4～6年生が寺に宿泊し平成の一休さんを体験する。リーダーは中学生、高校生、大学生が担当し青少年の健全育成をする。

## 山陰教区本部

皆成院支部（清水成真支部長）

- 事業名：三徳山夏の集い
- 活動年数：11年
- 該当事業：清掃奉仕・教育・文化
- 回数：年間通じて1回
- 場所：鳥取県東伯郡三朝町
- 人数：寺族2名・信徒12名・一般20名
- 要旨：全世界は一つであり、人種などで区別される事なく、同じ人間として、地球にくらしている人々が集まり、いろいろな交流を通して「一隅を照らす運動」を知ってもらう。

## 山陰教区本部

興隆寺支部（市原修俊支部長）

- 事業名：山寺コンサート
- 活動年数：4年
- 該当事業：まちづくり・文化
- 回数：年間通じて1回
- 場所：山口県山口市大字御堀
- 人数：寺族3名・信徒20名・一般300名
- 要旨：山口の伝統芸能である鷲流狂言を中心に言いながら、幼児のわらべ唄、児童による太鼓、雅楽、25絃箏ユニットによる箏の演奏、ブラスバンド演奏等趣

向を凝らした催しを開催している。

## 四国教区本部

玉瀧寺支部（大岡真祥支部長）

- 事業名：地域清掃・伝統文化行事の開催
- 活動年数：20年
- 該当事業：清掃奉仕・環境保全・まちづくり・文化
- 回数：年間通じて12回
- 場所：香川県丸亀市広島町
- 人数：檀徒15名
- 要旨：地区の道路清掃保全や賀茂神社例大祭、玉瀧寺盆踊りなどを開催し、地域活性を図っている。



## 九州東教区本部

善正寺支部（野中玄雄支部長）

- 事業名：第28回延岡「橋の日」
- 活動年数：28年
- 該当事業：清掃奉仕・環境保全・まちづくり
- 回数：年間通じて1回
- 場所：宮崎県延岡市中央通り
- 人数：寺族2名・檀徒30名・信徒20名・一般250名
- 要旨：橋の日は、橋に感謝、健康増進と郷土の発展を願う。当日は午前6時よりラジオ体操、その後に式典があり、東日本大震災の三回忌犠牲者慰霊と被災地復興祈念の黙祷などを行った。

## 九州東教区本部

長徳寺支部（大岐和典支部長）

- 事業名：子どもの健全育成 ちょうとくのお寺
- 活動年数：1年
- 該当事業：清掃奉仕・教育・慰問
- 回数：年間通じて1回
- 場所：宮崎県宮崎市清武町
- 人数：檀徒9名・信徒10名・一般10名
- 要旨：スポーツ（空手道）や「こどもほっしんえ」を合宿形式で実施し、青少年の健全育成を計る。

## 三岐教区本部

正行院支部（傍島法苑支部長）

- 事業名：正行院つどいの会
- 活動年数：19年
- 該当事業：教育・文化
- 回数：年間通じて12回
- 場所：岐阜県不破郡垂井町
- 人数：寺族2名・檀徒20名・信徒10名・一般20名
- 要旨：毎月つどいの会を開催している。参加者の先祖供養、説法を通じて地域住民との交流をしている。

## 東海教区本部

根福寺支部（林敬順支部長）

- 事業名：ボーイスカウト稲沢第9団
- 活動年数：33年
- 該当事業：教育
- 回数：年間通じて30回
- 場所：愛知県稲沢市祖父江町
- 人数：寺族2名・一般80名
- 要旨：宗教を基盤とした円満な青少年の健全育成を計るため、年間を通じて野外活動や地域行事への積極的な奉仕活動を行っている。

## 東海教区本部

圓観寺支部（加藤大道支部長）

- 事業名：介護老人福祉施設訪問
- 活動年数：3年
- 該当事業：福祉・教育・まちづくり・慰問・文化
- 回数：年間通じて12回
- 場所：愛知県知多郡
- 人数：寺族10名・一般80名
- 要旨：写経会やお祭りは当山の施設や境内地を解放、『きらめき』は檀信徒や参詣者に配布、老人とのふれあいに施設を訪問し法話等をして、福祉活動を行っている。



## 東海教区本部

法華寺支部（辻亮公支部長）

- 事業名：一隅を照らす運動第53回東海教区8部檀信徒会
- 活動年数：53年
- 該当事業：会員間の交流勉強会
- 回数：年間通じて1回
- 場所：静岡県焼津市
- 人数：寺族12名・檀徒40名・信徒10名
- 要旨：多数の会員があつまり、寺院行事などで地域住民との密接な関係を築けるような活動などを提案し、地域社会に貢献している。

## 東海教区本部

蓮華寺支部（高木善立支部長）

- 事業名：一隅会
- 活動年数：32年
- 該当事業：まちづくり・福祉
- 回数：年間通じて3回
- 場所：静岡県周智郡森町
- 人数：寺族2名・檀徒50名・信徒20名・一般10名
- 要旨：檀信徒、地域住民をお寺へ集めて、支部独自で一隅を照らす運動大会を行っている。一隅を照らす運動の一環として、様々な講座を開いている。



## 信越教区本部

長岳寺支部（入亮純支部長）

- 事業名：沙羅双樹子どもまつり
- 活動年数：11年
- 該当事業：教育・まちづくり・リサイクル・文化
- 回数：年間通じて1回



- 場所：長野県下伊那郡阿智村
- 人数：寺族3名・檀徒11名・信徒8名・一般30名
- 要旨：地域で活躍する大人による絵本の読み聞かせや、手遊び歌などを披露する。まつりの司会は、地域の小学生が担当し情操教育の要素を持ちながら、楽しく参加できる内容になっている。

## 南総教区本部

萬福寺支部（奈良康信支部長）

- 事業名：萬福寺サロンいこい
- 活動年数：10年
- 該当事業：環境保全・福祉・文化・清掃奉仕・慰問
- 回数：年間通じて28回
- 場所：千葉県鴨川市天津
- 人数：寺族3名・檀徒18名・一般8名
- 要旨：幼児から高齢者が健康で生き生きと安心して暮らせる町づくり、社会づくりに寄与するため施設を開放して交流を計っている。

## 群馬教区本部

常光寺支部（堀越教之支部長）

- 事業名：「下仁田ジオパーク」青倉エリアの環境保全・清掃活動と仏教文化・教育による生きがいの創造事業
- 活動年数：8年
- 該当事業：清掃奉仕・環境保全・教育・まちづくり・文化
- 回数：年間通じて12回
- 場所：群馬県下仁田町
- 人数：寺族4名・檀徒42名・信徒1名・一般4名
- 要旨：常光寺「共生の会」は、一隅を照らす運動の行動の柱である「生命」「共生」「奉仕」をさらに具体化させ、「学ぶ」「祈る」「ボランティア」として活動している。主に下仁田ジオパークの環境

保全と清掃活動に取り組んでいる。

## 安楽律法流本部

宗休寺支部（佐藤舜海支部長）

- 事業名：関善光寺ふれあいプロジェクト
- 活動年数：4年
- 該当事業：福祉・教育・まちづくり
- 回数：年間通じて5回
- 場所：岐阜県関市
- 人数：寺族2名・信徒10名・一般35名
- 要旨：NPO法人・市民団体・ボランティア団体などと協働し、既存の枠組みにとらわれない取り組みの創出など、寺院を地域社会との新しい「対話」と「交流」の場とする様々な事業を展開し寺院を核に新しい地域コミュニティを作るのが目的である。



址保存会へ総本部長賞の表彰があった。

また、一隅を照らす運動の活動報告として、松永博臣事務局長より災害時にお寺が拠点となり特定非営利活動法人アムダが医療活動を行う協力関係寺院の紹介などがあった。

第一部記念講演では、延暦寺一山寂光院住職小堀光實師を講師に招かれ、「最澄さまの御心を師父に感じて」と題した法話があり、最初に参加者全員で体操をした後に講演を始められ、参加者は終始、気持ちが落ち着いた状態で聞き入ることが出来たという声があった。

第二部記念講演では、落語家露の団姫師による「一隅を照らす落語」を披露され、会場全体は笑いの渦に包まれた。

最後に、教区議会議員より挨拶があり、閉会となった。

茨城教区本部では、推進大会を寺門興隆の良い機会と位置づけ、教区内の寺院を会場に大会を開催している。

### ○京都大会

京都教区本部（穴穂行弘教区本部長）では、平成25年10月18日に京都市左京区の真正極樂寺（竹内長敬支部長）を会場に、京都教区一隅を照らす運動推進大会を開催、約200名の参加者が集まった。

まず、穴穂本部長より開会の挨拶があり、続いて、福恵善高一隅を照らす運動総本部

## ■一隅を照らす運動推進大会■

### ○茨城大会

茨城教区本部（酒井貫全教区本部長）では、平成25年10月16日、神宮寺（茨城県稲敷市・真下俊昭支部長）を会場に、第18回茨城教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、住職・寺族・檀信徒ら約200名が参加した。

今大会は、「社会の中に一隅を照らす精神と意識を高め、実践する機会となることを目的とする」をテーマに実施され、始めに酒井本部長導師のもと法楽があり、参加者全員で『般若心経』をお唱えした。

続いて、主催者である酒井本部長の挨拶。来賓の福恵善高一隅を照らす運動総本部長と船戸俊宏茨城教区宗議会議員より祝辞があった。

篤行者表彰式では、稲敷市内にある県指定の城址を後生へ伝えるため永年にわたり活動している阿波崎城址保存会と神宮寺城



長より祝辞があった。

第1講では天王寺楽所雅亮会による雅楽の公演があった。各楽器の由来、音色の紹介の後、演奏があり、普段は聞き慣れない音に参加者は真剣に聞き入っていた。

第2講では九州東教区臨濟寺住職秦順照師による「道心・右仏、左は我が身」と題した講演が行われた。秦師はインドやタイなど海外での自身の体験を元に、冗談を交えながら話され、会場は笑いに包まれていた。

最後に、一隅を照らす運動副会長でもある谷口義久京都教区檀信徒会会長（天台宗檀信徒会会長）の挨拶の後、松景崇誓京都教区宗務所副所長の挨拶で閉会した。

### ○滋賀大会

滋賀教区本部（長山慈信教区本部長）では、平成25年10月27日に滋賀教区坂浅部東雲寺（吉田慈順支部長）を会場に、第17回滋賀教区一隅を照らす運動推進大会を開催、約200名の参加者が集まった。

はじめに、長山教区本部長を導師に法楽を厳修。続いて、挨拶があり開会した。

次に、実践功労者表彰として一隅を照らす運動総本部長賞を1団体、滋賀教区本部長賞を2名、それぞれ福惠善高一隅を照らす運動総本部長、長山教区本部長から表彰された。

続いて来賓の紹介があり、代表して福惠総本部長から祝辞が述べられた。

第1部では、延暦寺一山千手院住職小林

隆彰師による「一隅を照らす」と題した講演が行われた。小林師は、時折冗談を交えながら聴衆を笑わせ、参加者は熱心に耳を傾けていた。

第2部では、まず玄清法流成就院住職梶谷隆幸師と妙音寺住職城戸清賢師による琵琶の演奏が行われ、引き続き、大会を締めくくると法楽が行われた。法楽では梶谷、城戸両師が琵琶を弾き、滋賀教区仏教青年会有志が木魚や、太鼓、磐子、鉦を打ち鳴らし、音色に合わせて参加者全員で『般若心経』をお唱えするという創作性に富んだ趣向を凝らしたものとなった。

最後に、当日会場で集まった浄財が中嶋義夫滋賀教区檀信徒会会長から一隅を照らす運動総本部へ寄託され閉会となった。



### ○信越大会

信越教区本部（師田香雪教区本部長）では、平成25年11月19日に信越教区伊那部光前寺（吉澤道人支部長）を会場に、信越教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、約350名の参加者が集まった。

最初に師田教区本部長導師のもと法楽が厳修され、参加者一同で『般若心経』、『山家学生式』をお唱えした。続いて、師田教区本部長、会場寺院住職の吉澤道人宗議会議員より挨拶が述べられた。

次に、横山照泰一隅を照らす運動総本部長、吉澤圓敬信越教区布教師会長より祝辞が述べられた。



実践者表彰では、総本部長賞を1団体が受賞され、横山総本部長より表彰された。その後、一隅を照らす運動推進の誓いとして、一隅を照らす運動実践の3つの柱を参加者全員で唱えた。

第一部では、落語家露の団姫師による「一隅を照らす落語」が披露され、会場は笑いに包まれていた。

第二部では、講師に宮本祖豊延暦寺一山円竜院住職による「十二年籠山行」と題した講演が行われた。宮本師は、出家に至るまでの経緯やこれまでの体験を話され、質問に答えるなど、参加者は貴重な話に耳を傾けていた。

最後に、吉澤道信事務局長より挨拶があり閉会となった。

### ○近畿大会

近畿教区本部（高岡保博教区本部長）では、平成25年11月23日に高槻市の神峯山寺（近藤眞道支部長）を会場に、近畿教区一隅を照らす運動推進大会を開催し、檀信徒約200名が参加した。

はじめに、高岡本部長より開会の挨拶、続いて横山照泰一隅を照らす運動総本部長より祝辞があった。

今大会では、禅定林住職サンガラトナ・法天・マナケ師を講師に迎えて「インドの仏教」と題して講演があった。

自身の幼少期から比叡山で修行した経験談や、現在インドで取り組んでいる仏教の

復興活動などを紹介した。また、東日本大震災での被災者のエピソードを例に挙げ、「被災者自身が危機的状況にあるにもかかわらず、様々な面で人に譲ることが出来る日本人は、誰しも一隅を照らす心を持っている」と述べ、参加者は講演に聞き入っていた。

最後に、高岡本部長より挨拶があり閉会となった。



## ニュース News

### ◎一隅を照らす運動臨時理事会を開催

平成25年9月12日、天台宗務庁において一隅を照らす運動臨時理事会が開催された。

この臨時理事会で、会長に延暦寺一山真藏院住職森川宏映探題大僧正、副会長に陸奥教区中尊寺住職山田俊和師、副会長に法灯護持会会長・京阪電気鉄道株式会社最高顧問佐藤茂雄氏が委嘱された。

また、福恵善高専務理事より、平成25年度現在の事業報告と平成26年に迎える「一



隅を照らす運動」45周年大会についての報告があった。

### ◎比叡山中学校が義援金を寄託



平成25年10月7日、比叡山中学校ボランティア委員長の飯野明花さんが来庁し、9月23日・24日に比叡山中学校で行われた文化祭でのバザーの売り上げの一部16,580円を福恵善高一隅を照らす運動総本部長に東日本大震災義援金として寄託した。

同校ボランティア委員会では毎年バザーを行っており、総本部に寄託している。震災後は、義援金として寄託しており、今回で3回目。

また、飯野委員長は「東日本大震災で被災され、まだまだ復興されていない地域の方々の為に役立てて下さい」と熱い思いを語った。

### ◎第13回一隅を照らす運動公開講座を開催

一隅を照らす運動総本部では、第13回一



隅を照らす運動公開講座を平成25年10月31日に天台宗務庁で開催した。

今回の講師は、特定非営利活動法人アムダ代表菅波茂氏を迎え、「困った時はお互いさま」と題して講演された。約1時間の講演では、菅波代表がアムダを設立された経緯や東日本大震災での救援活動などを話され参加者は聞き入っていた。

菅波代表は、人道援助の三原則である、1. 誰でも他人の役に立ちたい気持ちがある、2. この気持ちの前には、国境、民族、宗教、文化等の壁はない、3. 援助を受ける側にもプライドがある、の3つを挙げ、「アムダでは、この三原則をもとに救援活動をしており、活動員は、相互扶助の精神である困った時はお互いさまの心で接している」と紹介した。

また、菅波代表より直接、参加者に質問がないか尋ねる場面や、参加者の質問に対してエールを送る一幕もみられ、会場が一体となって盛り上がった。

### ◎東京都へ台風26号災害義援金を寄託

平成25年10月16日明け方に台風26号がもたらした大雨の影響で、甚大な土石流災害を受けた東京都大島町への支援として、一隅を照らす運動総本部は11月6日に東京都庁を訪問し、義援金を寄託した。

東京都庁に、福恵善高一隅を照らす運動総本部長と杜多徳雄東京教区本部長が赴き、東京都福祉保健局の飯塚美紀子指導監査部





長と面談し、総本部からの義援金30万円を寄託し、被災状況の詳しい説明を受けた。

飯塚部長は「今回の災害で多くの方が被害に遭われました。この義援金は被災された方のために使わせていただきます」と述べられた。

### ◎NHKに義援金を寄託



平成25年12月9日、総本部は「NHK歳末たすけあい」と「NHK海外たすけあい」へ義援金を寄託した。

当日、NHK天津放送局から辻田和則局長が来庁し、木ノ下寂俊一隅を照らす運動理事長、武覚超同運動副理事長から目録が手渡された。

歳末たすけあいには、12月1日に比叡山麓坂本地区で行われた「天台宗全国一斉托鉢」にて集まった浄財523,201円。海外たすけあいには、地球救援事務局から1,000,000円がそれぞれ寄託された。

また、寄託式には比叡山幼稚園から真嶋全康園長先生、園児3名と保護者3名が出席し、秋に行われたバザーの収益金を、園児達から辻田局長に手渡された。

辻田局長は「本日お預かりした浄財は、助けを必要とされる方々のため、有効に使わせていただきます」と述べられた。

### ◎三千院門跡が浄財を寄託

平成25年12月24日、三千院門跡（堀澤祖門門主）の大島亮幸執事長が天台宗務庁に

来庁し、一隅を照らす運動総本部へ地球救援募金として50万円を寄託された。

今回は、京都市左京区大原の三千院一帯において行われた「托鉢寒行」で集まった浄財。この寒行托鉢は、二十数年以上前から行われており、地元大原の地で恒例行事として定着している。

### ◎比叡山高校宗内生が托鉢浄財を寄託

平成26年1月17日、比叡山高校宗内生4名（加島亮成君2年生、高宮顕大君2年生、吉井理峯君2年生、檜原亮紀君1年生）、教員1名が来庁し、平成25年12月8日（日）に行われた「寒行托鉢」で集まった浄財98,260円を地球救援募金として、地球救援事務局に寄託した。

この托鉢は、宗内生が実践仏教の一環として年1回12月に、大津市仰木地区において戸別托鉢を実施しているもので、網代笠、素絹、手甲、脚絆、頭陀袋などを身につけ、特に足下は草鞋を履く。1年生ではなかなか履き慣れない草鞋も、2・3年生になると慣れてくるという。

今年は宗内生9名が参加。1年生は今回が初めての参加で「とても寒かったです」と感想を語った。

また、宗内生は「天台宗のために使っていただけると光栄です」と寄託への想いを述べた。





**天台宗 一隅を照らす運動**

一隅を照らす運動は、家庭や社会を明るく心豊かにしようとする運動です。

一隅を照らす運動総本部 〒520-0113 滋賀県大津市坂本 4-6-2  
Tel.077-579-0022 Fax.077-579-2516 総本部ホームページ <http://ichigu.net>